

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	無期限（2017年1月23日設定）	
運用方針	主として、三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界主要国の債券に投資し、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、世界主要国の債券に直接投資することがあります。
	マザーファンド	世界主要国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。） </div>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド （年1回決算型）

愛称：グローバル・トップ年1



第5期（決算日：2021年4月20日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド（年1回決算型）」は、去る4月20日に第5期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	額			(参 考 指 数)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 期 騰	中 率 落 率	FTSE世界国債 インデックス (除く日本・円ベース)	期 騰 落 率			
(設定日) 2017年1月23日	円 10,000	円	—	% —	437.43	% —	% —	% —	百万円 10
1期(2017年4月20日)	9,693	0	△	3.1	422.92	△3.3	97.4	—	71
2期(2018年4月20日)	9,815	0		1.3	448.58	6.1	97.4	—	757
3期(2019年4月22日)	10,379	0		5.7	459.63	2.5	98.2	—	695
4期(2020年4月20日)	11,031	0		6.3	475.93	3.5	97.6	—	610
5期(2021年4月20日)	12,308	0		11.6	498.62	4.8	97.7	—	691

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	FTSE世界国債 インデックス (除く日本・円ベース)	騰 落 率		
(期首) 2020年4月20日	円 11,031	% —	475.93	% —	% 97.6	% —
4月末	10,987	△ 0.4	472.88	△0.6	96.5	—
5月末	11,209	1.6	481.05	1.1	97.7	—
6月末	11,523	4.5	488.81	2.7	98.0	—
7月末	11,685	5.9	494.14	3.8	97.8	—
8月末	11,846	7.4	492.65	3.5	97.9	—
9月末	11,770	6.7	494.88	4.0	98.1	—
10月末	11,544	4.7	488.04	2.5	97.7	—
11月末	11,891	7.8	493.20	3.6	98.2	—
12月末	12,085	9.6	497.33	4.5	96.9	—
2021年1月末	12,156	10.2	496.21	4.3	97.6	—
2月末	12,149	10.1	494.15	3.8	97.8	—
3月末	12,229	10.9	501.12	5.3	97.4	—
(期末) 2021年4月20日	12,308	11.6	498.62	4.8	97.7	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第5期：2020年4月21日～2021年4月20日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第5期首	11,031円
第5期末	12,308円
既払分配金	0円
騰落率	11.6%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ11.6%の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

豪ドルやシンガポールドルが対円で上昇したことや債券の利子収益を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

オーストラリアやシンガポールの長期金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第5期：2020年4月21日～2021年4月20日

投資環境について

▶ 債券市況

オーストラリア、米国、シンガポール、ニュージーランドの長期金利は上昇しました。

2020年10月にかけて、長期金利は米国、オーストラリア、シンガポールで概ね横ばいで推移した一方、ニュージーランドでは追加金融緩和観測などから低下しました。その後、米国で追加経済対策への期待が高まったことや、新型コロナウイルスワクチンの接種進展、商品価格上昇などを受けて、緩和的な金融政策の早期縮小を織り込む動きが強まったことなどを背景に、4カ国の長期金利は上昇基調で推移しました。

▶ 為替市況

豪ドル、米ドル、シンガポールドル、ニュージーランドドルは対円で上昇しました。

世界的に株高が進む中で投資家のリスクセンチメント改善などから、2020年12月にかけて米ドルは対円で下落した一方、豪ドル、シンガポールドル、ニュージーランドドルは上昇基調で推移しました。その後は、米国の追加経済対策などを背景とした米国長期金利の上昇などから米ドルは対円で上昇に転じたことに加え、新型コロナウイルスワクチンの接種進展、商品価格上昇などから、豪ドル、シンガポールドル、ニュージーランドドルは引き続き対円で上昇基調で推移しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド（年1回決算型）

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高いと判断した国の債券を高位に組み入れた運用を行いました。2020年4月までは、米国とシンガポールの2カ国で運用し、5月に米国をオーストラリアに入れ替えました。その後、2021年2月まではオーストラリアとシンガポールの2カ国で運用しましたが、3月にシンガポールをニュージーランドに入れ替えました。

▶ 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド

投資国

2020年4月までは、米国とシンガポールの2カ国で運用し、5月に米国をオーストラリアに入れ替えました。その後、2021年2月まではオーストラリアとシンガポールの2カ国で運用しましたが、3月にシンガポールをニュージーランドに入れ替えました。

通貨

相対的に利回りが高いと判断した投資対象国の中から、2020年4月は米国、5月以降はオーストラリアへ重点配分しました。

金利

残存期間毎に最終利回りが相対的に高い銘柄を中心に、流動性を考慮して銘柄選択を行い投資しました。

組入比率

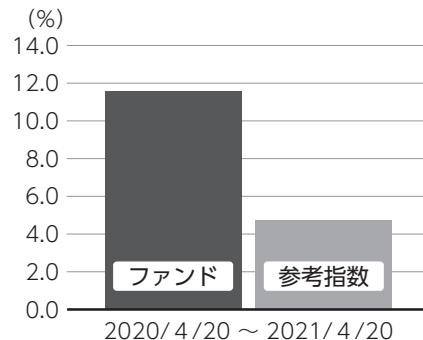
期を通じて、債券の組入比率は高位を維持しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はF T S E 世界国債インデックス（除く日本・円ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第5期 2020年4月21日～2021年4月20日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	2,308

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド（年1回決算型）

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

▶ 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド 投資国

世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投

資する方針です。

通貨

相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、相対的に利回りが高いと判断される国に重点配分する方針です。

金利

ポートフォリオの構築は国別に、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択する方針です。

2020年4月21日～2021年4月20日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	143	1.209	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(71)	(0.604)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(65)	(0.550)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	4	0.037	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.033)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	147	1.246	

期中の平均基準価額は、11,814円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

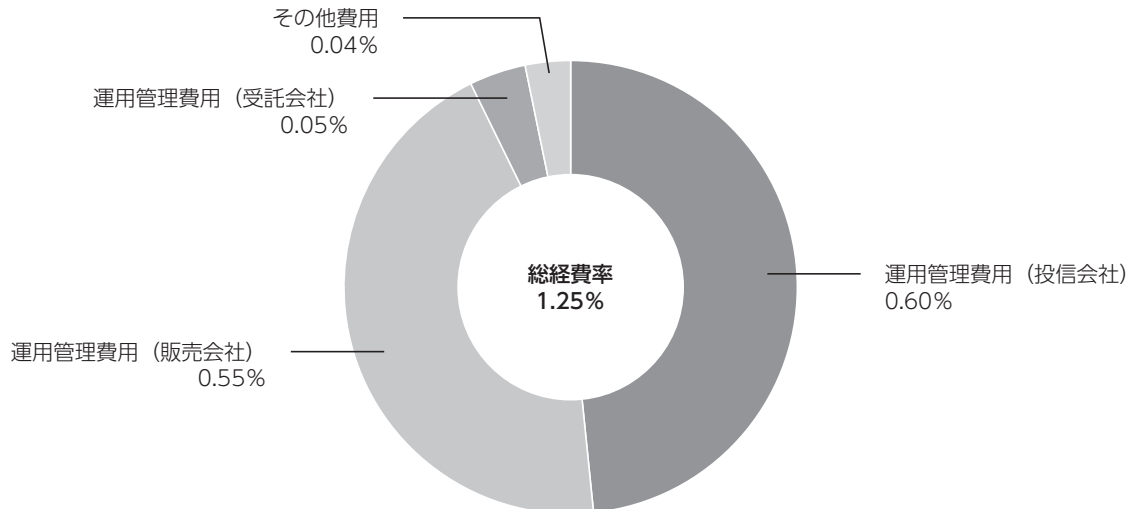
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.25%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年4月21日～2021年4月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千口 22,774	千円 62,808	千口 22,286	千円 61,088

○利害関係人との取引状況等

(2020年4月21日～2021年4月20日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド（年1回決算型）>
該当事項はございません。

<三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 180,020	百万円 30,456	% 16.9	百万円 201,257	百万円 64,588	% 32.1

平均保有割合 0.4%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年4月20日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千口 241,283	千円 689,967	千口 241,771	千円 689,967

○投資信託財産の構成

(2021年4月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千円 689,967	% 98.9
コール・ローン等、その他	7,577	1.1
投資信託財産総額	697,544	100.0

(注) 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（182,929,157千円）の投資信託財産総額（183,622,951千円）に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=84.04円	1 ニュージーランドドル=77.81円		
--------------------	---------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年4月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	697,544,212
コール・ローン等	6,709,560
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド(評価額)	689,967,772
未収入金	866,880
(B) 負債	5,877,431
未払解約金	1,786,574
未払信託報酬	4,077,572
その他未払費用	13,285
(C) 純資産総額(A-B)	691,666,781
元本	561,943,721
次期繰越損益金	129,723,060
(D) 受益権総口数	561,943,721口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,308円

<注記事項>

- ①期首元本額 553,770,622円
 期中追加設定元本額 73,961,537円
 期中一部解約元本額 65,788,438円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2308円です。

②分配金の計算過程

項 目	2020年4月21日～ 2021年4月20日
費用控除後の配当等収益額	15,123,695円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	50,395,990円
収益調整金額	21,273,149円
分配準備積立金額	42,930,226円
当ファンドの分配対象収益額	129,723,060円
1万口当たり収益分配対象額	2,308円
1万口当たり分配金額	—円
収益分配金金額	—円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

○損益の状況（2020年4月21日～2021年4月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 691
受取利息	10
支払利息	△ 701
(B) 有価証券売買損益	73,486,964
売買益	79,226,751
売買損	△ 5,739,787
(C) 信託報酬等	△ 7,966,588
(D) 当期損益金(A+B+C)	65,519,685
(E) 前期繰越損益金	42,930,226
(F) 追加信託差損益金	21,273,149
(配当等相当額)	(16,839,511)
(売買損益相当額)	(4,433,638)
(G) 計(D+E+F)	129,723,060
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	129,723,060
追加信託差損益金	21,273,149
(配当等相当額)	(16,940,904)
(売買損益相当額)	(4,332,245)
分配準備積立金	108,449,911

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド

《第18期》決算日2021年4月20日

[計算期間：2020年4月21日～2021年4月20日]

「三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド」は、4月20日に第18期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第18期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。 世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資することにより、利子収益の獲得をめざします。投資対象候補国は、国債の信用力、債券市場や外国為替市場の規模等を勘案して委託会社が決定します。投資対象候補国の中から、相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、最も利回りが高いと判断される国に重点配分することを基本とします。判断の基準としては、FTSE世界国債インデックスにおける各国の最終利回りとし、ポートフォリオの構築は国別に行うこととし、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択します。投資対象とする債券の種類は、各国の国債、政府保証債のほか、オーストラリアの州政府債および各国通貨建ての国際機関債とします。組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。
主要運用対象	世界主要国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	期騰落	中率	FTSE世界国債インデックス(除く日本・円ベース)	期騰落			
14期(2017年4月20日)	円	%	422.92	△3.7	%	%	百万円 272,303
15期(2018年4月20日)	21,256	0.3	448.58	6.1	97.6	—	222,771
16期(2019年4月22日)	21,931	3.2	459.63	2.5	98.4	—	203,832
17期(2020年4月20日)	23,472	7.0	475.93	3.5	97.8	—	182,121
18期(2021年4月20日)	25,258	7.6	498.62	4.8	97.9	—	183,125

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率	FTSE 世界国債 インデックス (除く日本・円ベース)	騰 落 率		
(期 首) 2020年4月20日	25,258	—	475.93	—	97.8	—
4月末	25,166	△ 0.4	472.88	△0.6	96.8	—
5月末	25,700	1.7	481.05	1.1	97.9	—
6月末	26,450	4.7	488.81	2.7	98.2	—
7月末	26,851	6.3	494.14	3.8	98.0	—
8月末	27,250	7.9	492.65	3.5	98.1	—
9月末	27,102	7.3	494.88	4.0	98.4	—
10月末	26,606	5.3	488.04	2.5	98.0	—
11月末	27,437	8.6	493.20	3.6	98.4	—
12月末	27,912	10.5	497.33	4.5	97.2	—
2021年1月末	28,107	11.3	496.21	4.3	97.8	—
2月末	28,116	11.3	494.15	3.8	98.1	—
3月末	28,334	12.2	501.12	5.3	97.7	—
(期 末) 2021年4月20日	28,538	13.0	498.62	4.8	97.9	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

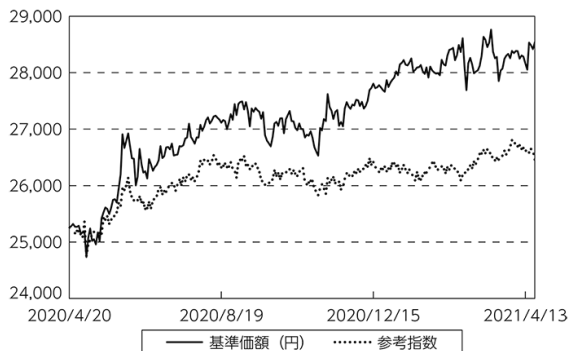
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ13.0%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

豪ドルやシンガポールドルが対円で上昇したことや債券の利子収益を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

オーストラリアやシンガポールの長期金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

・オーストラリア、米国、シンガポール、ニュージーランドの長期金利は上昇しました。

2020年10月にかけて、長期金利は米国、オーストラリア、シンガポールで概ね横ばいで推移した一方、ニュージーランドでは追加金融緩和観測などから低下しました。その後、米国で追加経済対策への期待が高まったことや、新型コロナ

ナウウイルスワクチンの接種進展、商品価格上昇などを受けて、緩和的な金融政策の早期縮小を織り込む動きが強まったことなどを背景に、4カ国の長期金利は上昇基調で推移しました。

◎為替市況

- ・豪ドル、米ドル、シンガポールドル、ニュージーランドドルは対円で上昇しました。

世界的に株高が進む中で投資家のリスクセンチメント改善などから、2020年12月にかけて米ドルは対円で下落した一方、豪ドル、シンガポールドル、ニュージーランドドルは上昇基調で推移しました。その後は、米国の追加経済対策などを背景とした米国長期金利の上昇などから米ドルは対円で上昇に転じたことに加え、新型コロナウイルスワクチンの接種進展、商品価格上昇などから、豪ドル、シンガポールドル、ニュージーランドドルは引き続き対円で上昇基調で推移しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて (投資国)

- ・2020年4月までは、米国とシンガポールの2カ国で運用し、5月に米国をオーストラリアに入れ替えました。その後、2021年2月まではオーストラリアとシンガポールの2カ国で運用しましたが、3月にシンガポールをニュージーランドに入れ替えました。

(通貨)

- ・相対的に利回りが高いと判断した投資対象国の中から、2020年4月は米国、5月以降はオーストラリアへ重点配分しました。

(金利)

- ・残存期間毎に最終利回りが相対的に高い銘柄を中心に、流動性を考慮して銘柄選択を行い投資しました。

(組入比率)

- ・期を通じて、債券の組入比率は高位を維持しました。

○今後の運用方針

(投資国)

- ・世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資する方針です。

(通貨)

- ・相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、相対的に利回りが高いと判断される国に重点配分する方針です。

(金利)

- ・ポートフォリオの構築は国別に、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2020年4月21日～2021年4月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	9	0.033	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(9)	(0.033)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	(0)	(0.000)	
期中の平均基準価額は、27,225円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年4月21日～2021年4月20日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカドル —	千アメリカドル 1,070,244
		特殊債券	—	89,781
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 1,796,300	千オーストラリアドル 358,953
		特殊債券	136,777	—
	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル 689,567	千ニュージーランドドル —
シンガポール	国債証券	千シンガポールドル 131,951	千シンガポールドル 800,729	

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2020年4月21日～2021年4月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
為替直物取引	百万円 180,020	百万円 30,456	16.9	百万円 201,257	百万円 64,588	32.1

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年4月20日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
オーストラリア	千オーストラリアドル 1,360,000	千オーストラリアドル 1,488,461	千円 125,090,330	% 68.3	% —	% 52.5	% 13.4	% 2.4
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 655,000	千ニュージーランドドル 697,096	54,241,058	29.6	—	18.5	6.9	4.2
合 計	—	—	179,331,388	97.9	—	71.0	20.3	6.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当 額面金額	期 末 評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
	国債証券					
	1.25 AUST GOVT 320521	1.25	80,000	75,914	6,379,885	2032/5/21
	1.5 AUST GOVT 310621	1.5	100,000	98,542	8,281,491	2031/6/21
	1.75 AUST GOVT 510621	1.75	30,000	24,473	2,056,725	2051/6/21
	2.25 AUST GOVT 221121	2.25	50,000	51,726	4,347,127	2022/11/21
	2.25 AUST GOVT 280521	2.25	60,000	64,469	5,418,021	2028/5/21
	2.5 AUST GOVT 300521	2.5	100,000	108,485	9,117,152	2030/5/21
	2.75 AUST GOVT 240421	2.75	85,000	91,741	7,709,971	2024/4/21
	2.75 AUST GOVT 271121	2.75	60,000	66,477	5,586,802	2027/11/21
	2.75 AUST GOVT 281121	2.75	80,000	88,723	7,456,345	2028/11/21
	2.75 AUST GOVT 291121	2.75	100,000	110,717	9,304,694	2029/11/21
	2.75 AUST GOVT 410521	2.75	30,000	31,559	2,652,231	2041/5/21
	3 AUST GOVT 470321	3.0	50,000	54,087	4,545,518	2047/3/21
	3.25 AUST GOVT 250421	3.25	50,000	55,590	4,671,821	2025/4/21
	3.25 AUST GOVT 290421	3.25	80,000	91,721	7,708,285	2029/4/21
	3.25 AUST GOVT 390621	3.25	45,000	51,290	4,310,473	2039/6/21
	4.25 AUST GOVT 260421	4.25	50,000	58,747	4,937,110	2026/4/21
	4.5 AUST GOVT 330421	4.5	60,000	77,602	6,521,673	2033/4/21
	4.75 AUST GOVT 270421	4.75	80,000	97,948	8,231,593	2027/4/21
	5.5 AUST GOVT 230421	5.5	50,000	55,422	4,657,669	2023/4/21
	特殊債券					
	2.75 QUEENSLAND 270820	2.75	40,000	43,927	3,691,660	2027/8/20
	4 NEWSWALES 230420	4.0	50,000	53,805	4,521,795	2023/4/20
	5.5 VICTORIA 241217	5.5	30,000	35,486	2,982,277	2024/12/17
小	計				125,090,330	
ニュージーランド			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
	国債証券					
	0.25 NZ GOVT 280515	0.25	40,000	37,431	2,912,557	2028/5/15
	0.5 NZ GOVT 240515	0.5	70,000	70,194	5,461,867	2024/5/15
	0.5 NZ GOVT 260515	0.5	40,000	39,347	3,061,638	2026/5/15
	1.5 NZ GOVT 310515	1.5	70,000	69,309	5,392,998	2031/5/15
	1.75 NZ GOVT 410515	1.75	40,000	35,674	2,775,816	2041/5/15
	2.75 NZ GOVT 250415	2.75	85,000	92,213	7,175,113	2025/4/15
	2.75 NZ GOVT 370415	2.75	30,000	32,413	2,522,111	2037/4/15
	3 NZ GOVT 290420	3.0	85,000	95,787	7,453,205	2029/4/20
	3.5 NZ GOVT 330414	3.5	45,000	53,017	4,125,326	2033/4/14
	4.5 NZ GOVT 270415	4.5	60,000	72,355	5,629,985	2027/4/15
	5.5 NZ GOVT 230415	5.5	90,000	99,350	7,730,435	2023/4/15
小	計				54,241,058	
合	計				179,331,388	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2021年4月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	179,331,388	97.7
コール・ローン等、その他	4,291,563	2.3
投資信託財産総額	183,622,951	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (182,929,157千円) の投資信託財産総額 (183,622,951千円) に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=84.04円	1 ニュージーランドドル=77.81円	
--------------------	---------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年4月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	183,622,951,726
コール・ローン等	2,818,524,910
公社債(評価額)	179,331,388,069
未収利息	1,384,398,799
前払費用	88,639,948
(B) 負債	497,924,232
未払解約金	497,924,137
未払利息	95
(C) 純資産総額(A-B)	183,125,027,494
元本	64,168,417,556
次期繰越損益金	118,956,609,938
(D) 受益権総口数	64,168,417,556口
1万口当たり基準価額(C/D)	28,538円

<注記事項>

- ①期首元本額 72,103,773,701円
 期中追加設定元本額 1,290,218,616円
 期中一部解約元本額 9,225,574,761円
 また、1口当たり純資産額は、期末2.8538円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)	39,245,156,969円
三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型)	18,161,306,479円
三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(年1回決算型)	5,443,622,238円
MUAM グローバル・ボンド・ファンド(適格機関投資家転売制限付)	1,030,658,092円
三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(年1回決算型)	241,771,593円
外国債券アクティブファンドセレクション(ラップ専用)	45,902,185円
合計	64,168,417,556円

○損益の状況 (2020年4月21日~2021年4月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	5,072,186,458
受取利息	5,072,586,515
支払利息	△ 400,057
(B) 有価証券売買損益	17,490,314,927
売買益	29,000,252,587
売買損	△ 11,509,937,660
(C) 保管費用等	△ 60,367,230
(D) 当期損益金(A+B+C)	22,502,134,155
(E) 前期繰越損益金	110,018,219,665
(F) 追加信託差損益金	2,286,706,156
(G) 解約差損益金	△ 15,850,450,038
(H) 計(D+E+F+G)	118,956,609,938
次期繰越損益金(H)	118,956,609,938

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。